

主要産地における令和3年産水稻の生育状況等について 第6報 (7月2日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和3年7月2日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考) 令和3年度の品種構成等の情報
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月15日現在)】</p> <p>(全道) 生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月21日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、分けつが発生も良好である。(空知総合振興局 6月21日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並(石狩振興局 6月21日付)</p> <p>(後志) 遅速は±0。(後志総合振興局 6月21日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月21日付)</p> <p>(日高) 6月4日の強風により、生育が一時的滞りが平年並みに推移している。(日高総合振興局 6月21日付)</p> <p>(渡島) 茎数は平年に比べやや少ないが生育は平年並である。(渡島総合振興局 6月21日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並。(檜山振興局 6月21日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月21日付)</p> <p>(留萌) 生育は、平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月21日付)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 3月23日付)</p> <p>(出資資料は以下同じ)</p>
青森	(生育)	<p>【6月30日現在】</p> <p>(黒石)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つがのロマン」は草丈が44.4cmで平年より1.4cm短く、株当たりの茎数は27.3本で1.8本少なく、葉数は9.4葉で0.2葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が50.3cmで平年より0.8cm長く、株当たりの茎数は25.6本で0.7本少なく、葉数は8.7葉で0.3葉多かった。 ・「まっしぐら」は草丈が53.1cmで平年より1.3cm長く、株当たりの茎数は26.8本で3.7本少なく、葉数は9.0葉で0.2葉多かった。 (十和田) ・「まっしぐら」の生育状況は草丈が58.2cmで前年より7.9cm長く、株当たりの茎数は22.0本で6.2本多かった。 <p>(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所 7月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがのロマン」及び「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあること、耐冷性・耐病性に優れていることから増加傾向とされている。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月15日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日現在の生育(県平均)は、草丈31.7センチメートル(平年+1.6cm)、茎数は304本/平方メートル(平年比119%)、葉数は7.0葉で平年より0.3葉多い。 <p>(岩手県 6月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
宮城	(生育)	<p>【7月1日現在】</p> <p>(大河原) 平年に比べて、草丈はやや長い、茎数はやや少ない、葉数は平年並(大河原農業改良普及センター 7月1日付)</p> <p>【6月21日現在】</p> <p>(大崎) 生育は順調に回復した。ほとんどのほ場で草丈・茎数・葉数・葉色ともに平年を上回っている。(宮城県大崎農業改良普及センター 6月24日付)</p> <p>(石巻) 生育は平年並み(宮城県石巻農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(石原) 管内のひとめぼれでは、草丈は平年より長く、茎数は平年より多く、葉数は平年並かやや少ないが、生育は順調。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(仙台) (移種「ひとめぼれ」) 草丈及び茎数は前年を上回る生育となっている(宮城県仙台農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(美里) 生育は順調に推移している。(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均気温は高く推移し、日照時間は平年より多かったことから、生育は平年よりやや進んでいる。(宮城県農政部 6月22日付) <p>【6月20日現在】</p> <p>(亶理) 生育量(草丈、茎数、葉数)は概ね平年並みに回復してきている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(気仙沼) 管内の生育調査は生育は概ね平年並以上となっており、いずれも中干しを開始する時期に達している。(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、近年、収量水準の高い「あきたこまち」が増加傾向にある。</p>
秋田	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域振興局の水稲定点調査によると、6月25日現在、あきたこまちは葉数は8.9葉(平年差+0.3葉)、茎数はm当たり388本(平年比94%)だった。(秋田県病害虫防除所 6月29日付) <p>(平鹿) 中干しが始まっている。(7月2日付)</p> <p>(秋田) 中干しが始まっている。(7月1日付)</p> <p>(由利) 生育が確保されたほ場から、中干しに入っている。(6月25日付)</p> <p>(鹿角) (6月25日調査) 草丈は36.6cm(平年比99%)と並、茎数は528本/m²(平年比105%)と多い状況。葉数は9.9葉(平年+0.8葉)と並であり、葉色はSPAD値44.6(平年45.5)と平年並。(6月25日付)</p> <p>(秋田) (6月25日調査) あきたこまちは草丈が39.3cm(平年比101%)、茎数が354本/m²(平年比94%)、葉数が9.0葉(平年+0.1葉)。(6月25日付)</p> <p>(北秋田) 6月10日以降の好天により、生育状況は回復している。(6月25日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・平垣部「はえぬき」の生育は、平年と比べて草丈は長く、茎数はやや多く、葉数と葉色は並みとなっている。農業総合研究センター(山形市)及び水田農業研究所(鶴岡市)の幼穂調査において、早生から中生の早の品種で幼穂分化が確認されており、出穂は、平年よりやや早いと予想されている。(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 6月30日付) <p>・(6月30日現在)「雪若丸」の生育は、指標値に比べ草丈は並、茎数は多く、葉数はやや多い。(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 6月30日付)</p> <p>(西置賜) 「つや姫(6月30日現在)」指標値に比べ、草丈はやや長く、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色はやや濃い状況。出穂期は平年並～やや早い予想。今後、気温が高く経過するとさらに早まる可能性も。「雪若丸(6月30日現在)」、指標値に比べ、草丈は長く、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色はやや濃い状況。出穂期は平年並～やや早い予想。(西置賜農業技術普及課 7月1日付)</p> <p>(北村山) (全般的な傾向) 草丈：並～やや長い、茎数：並～やや多い 葉数：並～やや多い(北村山農業技術普及課 7月1日付)</p> <p>(酒田・飽海) (6月30日現在) 草丈が長く、茎数は多く、葉数は進んでいる。管内水稲の生育は圃場ごとのバラツキがみられる。ほとんどの圃場で目標茎数は十分確保されている。水田農業研究所では、6月29日に調査した結果から「はえぬき」「雪若丸」「ひとめぼれ」で出穂が2～3日早まると予想している(酒田農業技術普及課 7月1日付)</p> <p>(鶴岡田川) 「つや姫(6月30日生育調査)」平年に比べて、草丈は長く、茎数は並み、葉数の展開は早く進んでおり、葉色は濃い指標値(区内総合支庁 農業技術普及課 7月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あきたこまち」が増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部(郡山市)が長く、会津地域(会津坂下町)が短く、浜地域(相馬市)が平年並から長くなっている。茎数は、各地域とも少なくなっている。主産葉数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっている。(福島県 6月9日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あきたこまち」が増加傾向となっている。</p>
茨城	(生育)	<p>【水戸】(6月29日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月1日付)</p> <p>(4月30日移植) 「あきたこまち」 2日早い、「コシヒカリ」 2日早い、「ふくまるSL」 1日早い。(5月10日移植) 「コシヒカリ」 平年並。</p> <p>【龍ヶ崎】(6月7日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月16日付)</p> <p>(4月27日移植) 「あきたこまち」 1日遅い、「ふくまるSL」 3日遅い、「コシヒカリ」 2日遅い。(5月7日移植) 「コシヒカリ」 平年並。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あきたこまち」が増加傾向となっている。</p> <p>・ニカメイガ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>

生育状況等			
栃 木	<p>【早稲栽培6月8日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生育は、ほぼ前年並みであるが、地域によって差が大きい。 <p>(栃木県 6月10日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ニコメイガ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「なびかり」及び「とちぎの星」が増加傾向にある。
千 葉	<p>【6月25日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月上中旬は、気温・日照ともに高く推移したことから、5月植えの「コシヒカリ」の生育が進んでいる。 4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月20日頃(前年より2日早い)から幼穂形成期を迎えている。 5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月24日頃(前年より4日早い)から幼穂形成期となる。 <p><生育進度(前年比)></p> <p>「ふさおとめ(4月20日植)」並、「ふさこがね(4月20日植)」並、「コシヒカリ(4月20日植)」並、「コシヒカリ(5月1日植)」やや早、「粒すけ(4月20日植)」並。</p> <p>(千葉県 6月29日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。
新 潟	<p>【6月30日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」の生育は、県全体では指標値に比べ、草丈は並、茎数はやや多い、葉数の進みは並、葉色は並。 地域差が大きく、茎数が多いほ場や葉色が淡いほ場もみられる。 「新之助」は、草丈はやや短い、葉色の進み、茎数、葉色はともに指標値並の状況。(新潟県農林水産部 7月1日付) <p>(新潟県 農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(新発田) 出穂期は前年並で推移している。極早生・早生品種では、幼穂が確認された。(新潟県農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(新 潟) コシヒカリは指標値並の生育。(新潟県農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(三 条) 早生・中生とも生育は並で順調。出穂期は早生・中生とも前年並みの予測(三条農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(魚 沼) 出穂予想は前年並の8月5日頃。(魚沼農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(南魚沼) 草丈・やや短い、葉数・並、茎数・並(南魚沼農業者普及指導センター 7月1日付)</p> <p>(柏 崎) 「コシヒカリ」(指標値比)草丈・やや短い、茎数・やや多い、葉数・並。</p> <p>「こしいふさ」(指標値比)草丈・やや長い、茎数・並、葉数・並。(柏崎農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(十日町) 「コシヒカリ」草丈・やや短い、茎数・やや多い、葉数の進み・やや早い。</p> <p>(十日町) 早生・中生とも前年並みの生育。(十日町農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(糸魚川) 調査ほ場の平均では、草丈はやや短、茎数はやや少、葉数は並。(糸魚川農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(佐 渡) 出穂期は「前年より1日程度早い」と予想される。(佐渡農業者普及指導センター 6月30日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こしいふさ」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」、「つきあかり」及び「みずほの輝」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。
富 山	<p>【本田での生育状況】(6月29日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> コシヒカリ 平年と比べ、草丈、茎数、葉色は並、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は前年並となっている。生育量(草丈×㎡茎数×葉色÷1000)は113となっている。今後、前年並の気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ前年より3日程度遅い7月14日頃、8月5日頃と見込まれる。 <p>・てんこもり</p> <p>平年と比べ、草丈は遅く、茎数、葉色は遅く、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は前年並、茎数は前年並となっている。幼穂形成期は、前年より5日遅い6月27日となった。今後、前年並の気温で推移した場合、出穂期は7月19日頃と見込まれる。</p> <p>・富富富</p> <p>近年に比べて、草丈、葉色は並、茎数はやや少なく、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、茎数は前年並となっている。今後、前年並の気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期はそれぞれ前年より4日程度遅い7月17日頃、8月8日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県 6月29日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「富富富」が増加傾向にある。
石 川	<p>【6月28日調査】</p> <p>(出穂期予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ゆめみつほ」の出穂期予想は、加賀地域で7月17～21日頃と平年に比べ並～1日程度遅く、能登地域(羽咋～中能登)は7月23日頃と前年並と見込まれる。また、能登地域(奥能登～珠洲)「の能登ひかり」の出穂期は、7月23～25日頃と近年に比べ1日程度早くなると見込まれる。 <p>(生育)</p> <p>(年齢展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」生育の遅速は、平年に比べ1～2日程度遅いと見込まれる。 「ひやくまん穀」生育の遅速は、加賀地域では近年に比べ2～3日程度遅く、能登地域では近年並と見込まれる。 <p>(石川県農林総合研究センター 6月29日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみつほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。
福 井	<p>【7月1日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月2日移植のハナエチゼンが6月28日に幼穂形成期となった。 <p>(福井県ほか 7月2日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
長 野	<p>【農業試験場八重森圃場(標高348m)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移植後40日の生育は、いずれの品種(あきたこまち、コシヒカリ、風さやか)も主葉数がやや遅れ、草丈、茎数は前年並みである。(長野県農業試験場 6月30日付) <p>【農業試験場原村試験地(標高1,017m)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移植後30日の生育は、いずれの品種(きらりん、ゆめしなの、あきたこまち)も主葉数は前年並み、草丈はやや遅れ、茎数は少ない傾向である。(長野県農業試験場 6月30日付) <p>(生育)</p> <p>【伊那米総合試験地(伊那市美穂)】(6月24日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」は、草丈は前年並(101%)、茎数は前年より多く(115%)となっている。「あきたこまち」や酒米は、草丈は前年よりやや短い、茎数は前年並から前年より多くなっている。(上伊那県農業農村支援センター 6月29日付) <p>【安曇野市豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)「コシヒカリ」「あきたこまち」】(7月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稲の生育は「あきたこまち」「コシヒカリ」とも概ね前年並みの生育進度と思われる。(松本県農業農村支援センター 7月1日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か多く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。
滋 賀	<p>【6月21日時点】</p> <p>【農業技術振興センター水稲作況調査】(みずかがみ、コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈および葉数は、両品種とも前年並みであった。 茎数は、両品種ともに前年よりかなり少なかった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月25日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> トビイロウンカ、ニコメイガ、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「クニヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。

生育状況等			
兵 庫	<p>【5月27日現在】</p> <p>(県北)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。 <p>(生育)</p> <p>(県南)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗の生育は順調である。 <p>(兵庫県 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トビイロウンカ、ニカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。
岡 山	<p>【6月21、22日巡回調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極早生種の生育は概ね平年並である。 <p>(岡山県 6月30日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
高 知	<p>【5月24日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、全体的に莖数は少なく、生育がやや遅れている。 <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国そだち 平年に比べ、草丈はやや高く、莖数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・コシヒカリ(4月6日植え) 平年に比べ、草丈は高く、莖数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・よさこい美人 前年に比べ、草丈は高く、莖数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・コシヒカリ(4月14日植え) 平年に比べ、草丈は高く、莖数が少ないものの、生育進度(葉齢)は平年並まで推移している。 <p>(高知県農業技術センター 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福 岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 早生水稲(夢つくし、コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え後、低温の影響で初期生育はやや遅れ、平年に比べて、草丈は低く、莖数は少ない。出穂率は平年並み～やや遅い7月中旬の見込み。 <p>(2) 普通期水稲(夢つくし、元氣つくし、ヒノヒカリなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬～6月上旬植えは、田植え後の多雨と日照不足により、軟弱徒長気味の生育となっている。麦収穫後の田植えも始まり、平地地の「夢つくし」は6月上旬、元氣つくしは6月中旬、ヒノヒカリは6月下旬が最盛期となる見込み <p>(福岡県農業総合試験場 6月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元氣つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元氣つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「爽りつくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまきん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。
宮 崎	<p>【作物の生育状況(6月中旬)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月24日) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みそ358」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月3日～8月2日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、早期栽培において収量水準の高い「なつほのか」が増加傾向であり、「コシヒカリ」との価格差も小さいことから今後も移行が進むことが予想される。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和3年7月2日 14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で表している。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況調査の概要 令和3年6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、
作況調査報告(6月30日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月30日)、
農作物技術情報第4号要約(岩手県)(6月24日)、
令和3年産水稲の生育状況について(6月21日現在)(宮城県 6月22日)、
令和3年産仙南稲作情報(第3号)(大河原農業改良普及センター 7月1日)、
仙台稲作情報2021(第4号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月23日)、
令和3年産美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日)、
令和3年産気仙沼・南二陸稲作情報第5号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月22日)、
令和3年産大崎稲作情報第4号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月24日)、
稲作情報(vol.3)(宮城県石巻農業改良普及センター 6月22日)、
栗原の稲作通信令和3年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月22日)、
令和3年稲作情報第3号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月22日付)、
令和3年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(7月予報)(秋田県病害虫防除所 6月29日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 7月2日閲覧)、
米づくり技術情報第6号(山形おいしさを極める!米づくりプロジェクト本部 6月30日)、
つや姫だより穂肥特別号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月1日)、
西おきたまつや姫だより第1号(山形おいしさを際立つ!米づくりプロジェクト置賜地域本部 7月1日)、
西おきたまつや雪若丸だより第3号(山形おいしさを際立つ!米づくりプロジェクト置賜地域本部 7月1日)、
稲作だより第8号(北村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月1日)、
酒田・飽海米づくり情報第7号(酒田農業技術普及課 7月1日)、
主要な農作物の生育情報令和3年度第3号(福島県農林水産部 6月8日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 7月1日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月16日)、
令和3(2021)年度水稲生育診断予測事業速報No.2(栃木県 6月10日)、
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県 6月29日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第4号)(新潟県 7月1日)、
コシヒカリ生育情報第4号(魚沼農業普及指導センター 6月30日)、
令和3年産水稲生育速報No.4(新発田農業普及指導センター 6月30日)、
稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月30日)、
FAX稲作情報No.6(三条農業普及指導センター 6月30日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.4(6/30調査)(南魚沼農業普及指導センター 7月1日)、
十日町地域稲作生育速報(令和3年6月30日)(十日町農業普及指導センターほか 6月30日)、
稲作管理情報第5号(柏崎農業普及指導センター 6月30日)、
令和3年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.4(糸魚川農業普及指導センター 6月30日)、
令和3年度稲作生育速報No.4(佐渡農業普及指導センター 6月30日)、
TACS情報第6号(富山県 6月29日)、
令和3年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月29日)、
稲作情報No.9(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月2日)、
令和3年作物技術普及情報第11号(松本農業農村支援センター 7月1日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月30日)、
水稲高標高試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月30日)、
伊那米総合試験地水稲奨励品種決定は生育状況(上伊那農業農村支援センター 6月25日)、
令和3年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月25日)、
令和3年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月7日)、
令和3年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 6月30日)、
令和3年度における早期水稲の生育状況(6月24日時点)(高知県農業技術センター 6月4日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月15日現在)、
令和3年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月24日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日広島地方気象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(7月1日鹿児島地方気象台)、

北海道地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、
北陸地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)、
四国地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

令和3年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月9日)
令和3年産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月23日)